

# 気になるのは自分の評価ばかり？！

## 現場管理者は職場の安全や社員のことを

### 考えているのか？！

大阪交番検査車両所では、最近現場管理者の資質が問われるような事象が連続して発生しています。

#### 【事象その1】

7月9日に安全対策部岡部次長の「職場点検」があり始業点呼で訓示を頂きました。次長は訓示の原稿が読みにくいのか保護メガネを外して胸ポケット入れ、胸ポケットのボタンが留まっていませんでした。後で作業中の更衣室で社員の話題になるくらいですから多くの社員が気付いていました。社員が点呼の時に胸ポケットのボタンを留めていなければ管理者から確実に「注意・指導」されます。沢山いた現場管理者は次長の訓示に大きくうなづいていましたが、誰一人次長にそのことを伝えようとしませんでした。

#### 【事象その2】

7月20日の3本目（E交）の交検施工中、多数の現場管理者が社員に付いて作業の点検を行っていました。その時火災警報器のベルが鳴りました。警報器のテストだったようですが、当日の始業点呼ではこのことは周知されていません。そればかりかベルを聞いた現場にいた大勢の管理者は誰一人班長室に電話して「只今報知器のテスト中です」といった放送をかけるなどの手配もとりませんでした。

社員の皆さん！このような現場管理者の「姿勢」についてどう感じますか！